令和４年６月７日発行

☆★――――――――――――――――――――★☆

東北農業青年応援通信第72号

☆★――――――――――――――――――――★☆

《トピックス》

1. 農業はじめました！～新規就農者の取組紹介～(東北農政局青森県拠点)
2. 令和４年度「初心者向けりんご研修会」のご案内(青森県弘前市)
3. 令和４年度「胆江地方ニューファーマー」希望者募集のご案内(岩手県)
4. 「二戸地方ワンストップ就農相談会」のご案内(岩手県)
5. 「秋田市新規就農研修令和５年度生募集」のお知らせ(秋田市)
6. 毎年６月は「食育月間」です！～食育セミナー開催のご案内～(東北農政局)
7. 全国高校生農業アクション大賞のご案内
8. 新規就農者の就農実態に関する調査結果を公表しました(全国農業会議所)
9. 「食料・農業・農村白書」の公表(農林水産省)
10. 編集後記

◆◇――――――――――――――――――――

1. 農業はじめました！～新規就農者の取組紹介～(東北農政局青森県拠点)

――――――――――――――――――――◇◆

東北農政局青森県拠点では、新規就農者の取組や課題、その解決方法などを紹介しています。

今回は、新規就農１年目で有機農業に取り組み、酵母菌を活用した土壌改良や太陽熱養生処理マルチシートを活用した土壌消毒と防草に取り組んでいる久保佑樹さんと綾香さん（十和田市）をご紹介します。

久保さんは、消費者の自宅に直接お野菜をお届けするほか、地元の保育園にも朝採り野菜をお届けし、子ども達や親御さんからも大変好評を得ています。

詳しくはこちらから↓

□農業はじめました！～新規就農者の取組紹介～：東北農政局青森県拠点
https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/aomori/attach/pdf/index-21.pdf
(久保 佑樹さんと綾香さん(十和田市))
https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/aomori/attach/pdf/index-41.pdf
(久保さんが実践する有機農業の取組紹介)

◆◇――――――――――――――――――――

2.令和４年度「初心者向けりんご研修会」のご案内(青森県弘前市)

――――――――――――――――――――◇◆

弘前市では、りんごの補助作業に関心のある方や、園地でのアルバイトを希望する方などを対象に、りんご作業の基礎的な内容を実技形式で学んでいただく「初心者向けりんご研修会」を開催しています。

【開催日程】第１回　摘果編：開催済み
　　第２回　袋掛け編：①６月 18 日(土)、②６月 22 日(水)
　　第３回　着色管理・収穫編：①９月 24 日(土)、②９月 28 日(水)
　　※①、②とも同じ内容で行います。各回 13:30～15:00。
【開催場所】弘前市りんご公園
【定　　員】各回 30 名(開催日の２日前までの申込みが必要です。)

詳しくはこちらから↓

□令和４年度 初心者向けりんご研修会：弘前市
http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sangyo/nogyo/ringo-kensyuu0.html

◆◇――――――――――――――――――――

3.令和４年度「胆江地方ニューファーマー」希望者募集のご案内(岩手県)

――――――――――――――――――――◇◆

岩手県の胆江地方農林業振興協議会では、奥州市・金ケ崎町で新たに就農を希望する方を募集し、「胆江地方ニューファーマー」として重点的な支援を行っています。就農前には、先進的な農業経営者のもとで実践的な研修を行い、就農後には、近隣の先輩農家からの日常的なサポートを受けることができます。

毎月第２木曜日に就農相談窓口を開設しておりますので、ご関心のある方は是非話を聞いてみてはいかがでしょうか。

詳しくはこちらから↓

□令和４年度「胆江地方ニューファーマー」希望者募集！：岩手県
https://www.pref.iwate.jp/kennan/oshu_noukai/1020863.html
（トップページ）
https://www.pref.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/020/863/r4newfarmer_chirashi.pdf
（チラシ）

◆◇――――――――――――――――――――

4.「二戸地方ワンストップ就農相談会」のご案内(岩手県)

――――――――――――――――――――◇◆

岩手県の二戸地方農林水産振興協議会では、二戸地方で就農等を希望する皆さんを対象に、栽培品目の特徴、就農等に必要となる研修や農地・資金などに係る支援策について、個別相談会を行っています。

【開催日時】毎月第３水曜日　13：00～16：00(予約制)

令和４年６月 15 日、７月 20 日、８月 17 日、９月 21 日、10 月 19 日、11 月 16 日、12 月 21 日、令和５年１月 18 日、２月 15 日

【場　　所】二戸地区合同庁舎会議室(岩手県二戸市石切所字荷渡６－３)

【申込〆切】開催日の２日前まで

詳しくはこちらから↓

□就農イベント情報「二戸地方ワンストップ就農相談会」：(公社)岩手県農業公社

https://www.i-agri.or.jp/try/try-top/try-5400/

◆◇――――――――――――――――――――

5.「秋田市新規就農研修令和５年度生募集」のお知らせ(秋田市)

――――――――――――――――――――◇◆

秋田市は、市内において新たに野菜や花きの園芸作物による農業経営を目指す方を対象に、就農に結び付く実践的な研修を実施します。

令和４年５月２日から７月 29 日まで、令和 5 年度生の募集を行っていますので、興味のある方は是非ご応募ください。

【募集定員等】

・募集定員：10 名

・研修期間：2 年間(令和 5 年 4 月から令和 7 年 3 月まで)

・研修内容：ほ場実習、農業機械研修、座学（栽培基礎、農業経営等）、農家実習、プロジェクト研修（模擬経営）ほか

・研修場所：秋田市園芸振興センターほか

詳しくはこちらから↓

□新規就農研修生募集：秋田市

https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/norinsuisangyo/1006808/1006809/1007071.html

（トップページ）

https://www.city.akita.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/007/071/r5shin_yoko.pdf
（募集要項）

◆◇――――――――――――――――――――

6.毎年 6 月は「食育月間」です！～食育セミナー開催のご案内～(東北農政局)

――――――――――――――――――――◇◆

毎年 6 月は、食育推進基本計画において、国、地方公共団体、関係団体等が協力して、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する「食育月間」と定められています。
東北農政局では、「みんなでつなげよう食育の輪（和）」をテーマに、令和 4 年度第 1 回食育セミナーを開催します。この機会に是非セミナーに参加し、食育に対する理解を深めてみてはいかがでしょうか。
【開催日時】 6 月 29 日(水)　13：30～15：30
【開催方法】オンライン(Zoom)
【内　　容】「食育ネットとうほく」会員の食育活動事例発表及び意見交換等
【申込〆切】 6 月 22 日(水)　先着 100 名
詳しくはこちらから↓
□令和 4 年度第 1 回食育セミナーの開催について：東北農政局
https://www.maff.go.jp/tohoku/press/syouan/syouhiseikatsu/220530.html
(プレスリリース)
https://www.maff.go.jp/tohoku/press/syouan/syouhiseikatsu/attach/pdf/220530-3.pdf
(チラシ)

◆◇――――――――――――――――――――

7.全国高校生農業アクション大賞のご案内

――――――――――――――――――――◇◆

全国農業協同組合中央会及び毎日新聞社では、農業高校などの生徒たちがグループで取り組む、農や食に関するプロジェクトや課題研究を支援する取組を実施しています。
農家の人たちなど地域と連携して実践する 3 カ年の計画を募集、毎年度 15 グループを認定し、3 年間の活動に対する支援をします。是非この機会に応募を検討されてみてはいかがでしょうか。

【応募締切】令和 4 年 6 月 30 日（木）
詳しくはこちらから↓
□全国高校生農業アクション大賞：主催　全国農業協同組合中央会、毎日新聞社
https://www.mainichi.co.jp/event/nou-act/index.html

◆◇――――――――――――――――――――

8.新規就農者の就農実態に関する調査結果を公表しました(全国農業会議所)

――――――――――――――――――――◇◆

全国農業会議所では、新規就農者の就農実態に関する調査結果を公表しました。
本調査は、3 年から 5 年おきに実施している調査で新規就農者を巡る現状や課題が垣間見える貴重なデータとなっています。
是非ご覧ください。
詳しくはこちらから↓
□新規就農者の就農実態に関する調査結果：全国農業会議所
https://www.be-farmer.jp/uploads/statistics/YV447s7CQjwBYJ3OtEht202203231858.pdf

◆◇――――――――――――――――――――

9.「食料・農業・農村白書」の公表(農林水産省)

――――――――――――――――――――◇◆

農林水産省では、令和 3 年度の「食料・農業・農村白書」を公表しました。
今回の白書は、特集として「変化（シフト）する我が国の農業構造」を取上げ、2020 年農林業センサスの公表等を踏まえた我が国の農業構造の中長期的な変化について、品目別・地域別も含めた分析をしています。
また、トピックスでは、令和 3 年度における特徴的な動きとして、「新型コロナウイルス感染症による影響が継続」、「みどりの食料システム戦略に基づく取組が本格始動」、「農林水産物・食品の輸出額が 1 兆円を突破」等を取り上げています。
詳しくはこちらから↓
□令和 3 年度　食料・農業・農村白書の公表：農林水産省
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo04/220527.html
(プレスリリース)
https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r3/index.html
(白書掲載ページ)

◆◇――――――――――――――――――――

10.編集後記

――――――――――――――――――――◇◆

トピック９に関連して、今回の白書のトピックスでは、「半農半Ｘ」など多様な農業への関わり方の展開も取り上げています。
北海道や沖縄などのJAが連携してアルバイトを共同確保し、農作業の繁忙期に応じた就業を行いながら全国を渡り歩く産地間連携の取組や、農村地域に宿泊して本業のテレワークを行いながら、空いた時間で農作業を行う「農ケーション」など、様々な取組を紹介しています。
このように多様な農業への関わり方を通して、将来的な就農や労働力不足の解消、地域の活性化に繋がることが期待されますね。
白書はそのほかにも様々なテーマを扱っていますので、この機会に是非ご覧ください。

＊次回は令和４年６月中旬発行予定です

■□■――――――――――――――■□■

発行：東北農政局経営・事業支援部経営支援課
〒980－0014
宮城県仙台市青葉区本町３丁目３－１
TEL：022-221-6217

◇バックナンバーはこちらから↓
https://www.maff.go.jp/tohoku/keiei/new_farmer/ouen.html
◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方や配信停止をご希望される方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。
tohoku_ag-seinen@maff.go.jp

■□■――――――――――――――■□■